

扶助費20年で倍以上に

新市建設計画の変更に伴う財政計画による

沼田市議会の12月議会が開会し、初日に10議案が審議・採決され、すべて全会一致で採択されましたが、審議の中で明らかになったことなどを報告します。

15年前の沼田・白沢・利根の合併に伴い策定された「新市建設計画」の変更が提案されました。この計画は、3自治体が1自治体になったことに伴う普通交付税の減少について、10年間は3自治体時の合計額を保証するとともにその後は1自治体としての算定額(一本算定という)に5年間かけてだんだんと減少させるという優遇措置が、計15年かかるため平成17年度から31年度までの15年計画でした。

合併特例債の残額は約7億円

しかし、もう一つの優遇措置である「合併特例債」の活用期限が、東日本大震災の影響で、2度延ばされ、令和6年度までとなったことから「新市建設計画」を令和6年度までの20年間とする変更が提案されました。沼田市は、約150億円の合併特例債をテラス沼田、利南運動広場、新給食センターなどの建設に活用してきましたが、残額が約7億円になります。この7億円は、来年度から建設される新「武道場」に活用され、それで残額は0になる予定です。



合併特例債を活用して
つくられたテラス沼田

この新市建設計画の5年間の延長に伴い、「財政計画」も5年間延長され、歳出は、人件費、扶助費、公債費、普通建設事業費、その他で分類されている中で扶助費以外は初年度の平成17年度に比べて20年後の令和6年度には減少する計画ですが、扶助費だけは2倍以上に増大するという計画です。



井之川博幸市議

井之川議員の質疑に対する当局の答弁では、生活保護費の拡大はじめ福祉事業費の伸びが予想されているということです。国の段階では、それらに対応して、生活保護費の引き下げや高齢者医療・福祉の自己負担の引き上げなどの国民生活犠牲の動きが始まっています。市財政の問題として、市民全体で考えていく必要があるのではないのでしょうか。

市立5幼稚園を2幼稚園に削減

少子化と利用者減少のため、市立の榛名、利南、利南東、池田、薄根の5幼稚園を利南、薄根の2幼稚園に廃園・統合する提案がされ、採択されました。



廃止が決まった池田幼稚園

井之川議員の質疑により、来年度の入園希望者は、利南幼稚園が39人、薄根幼稚園が16人の計55人とのことです。また井之川議員は、利用者にとって遠くなる園児も出るわけで、3年前の保育料値上げの時、担当部長が約束した「送迎バス」の運行を求めました。

(仮称)利南運動広場整備・建築・土木工事費の変更を承認

(仮称)利南運動広場の工事請負契約を建築・土木工事ともに変更する提案があり、承認されました。

(建築工事)は、契約金額の変更前1,149,120,000円から変更後1,160,395,000円に11,275,000円増、(土木工事)は、変更前475,200,000円から変更後482,053,000円に6,853,000円増でした。

理由は、事前にボーリングを3カ所行っていたが、外れた部分で地盤が予想より強固で、パーカッション重機が必要になったこと。また、屋外消火栓の1カ所追加などによる。

台風19号による災害復旧事業予算を承認

10月の台風19号により、関東地方を中心に大きな災害になりました。沼田市では、大きな被害はなかったものの利根、川田地域などの農地や農道などの法面・路面などが崩壊する被害があり、市長の専決処分により予算化され、復旧工事に取り組んできました。

2019年12月15日 No.952

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料